

提 案 書

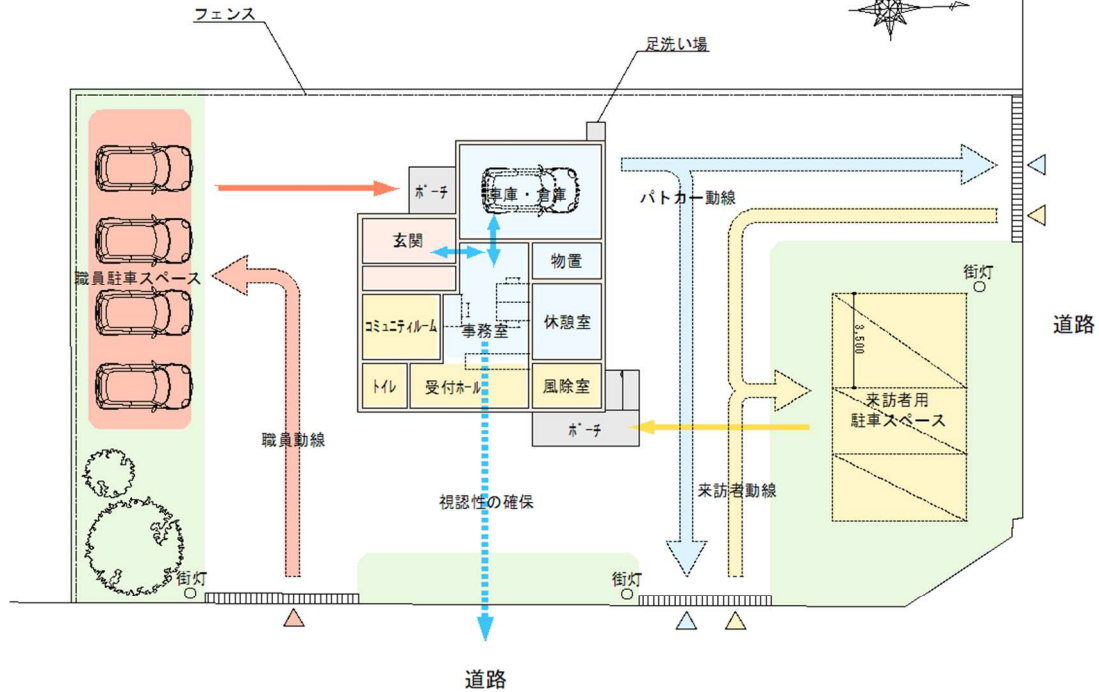
1-1 建物要件書を踏まえた配置・平面・立面計画の提案

- ・留意した点の『説明文』を記載してください。
- ・車庫は事務室から直接出入りできる配置とし、パトカーが車庫から北側と東側の両道路へスムーズに出入りできる動線計画とした。
- ・来訪者は東側道路の北側から、職員及びその家族は南側から敷地に入る計画とし、建物への出入り口もそれぞれ北側と南側に設けることで動線を分離した。また建物内の所要室は来訪者が利用する室と職員が利用する室をそれぞれ東西に配置することで、動線を短縮化・分離した。
- ・事務室は、広く東側道路に面した受付ホールと風除室を介することで外部への視認性を確保した。また視認性確保のため受付ホールの外壁部分には門型フレームを使用することで連続した窓を設け、窓の高さは着席状態でも外が見えるよう床から60cmとした。
- ・メイン道路に対して広く開口を設けることで、地域に開かれた庁舎とした。
- ・コミュニティルームはプライバシー確保のため、道路及び来訪者の利用する駐車スペースから見えない南側へ配置した。
- ・宿舍は防犯・プライバシー確保のため建物二階に計画し、メイン道路に面するキッチン・リビングの東側には窓を設けないようにした。また宿舍玄関は来訪者が誤って入らないよう、敷地南西の角に計画した。
- ・宿舍を利用する職員が外へ出ることなく庁舎へ出入りできるよう、宿舍玄関と事務室は直接行き来できる計画とした。
- ・建物の屋根形状は、敷地東側から望む中央アルプスの山並みと調和するよう、緩やかに重なり合うような山形で南北に吹き降ろした切妻屋根とした。

1-2 建物要件書を踏まえた配置・平面・立面計画の提案

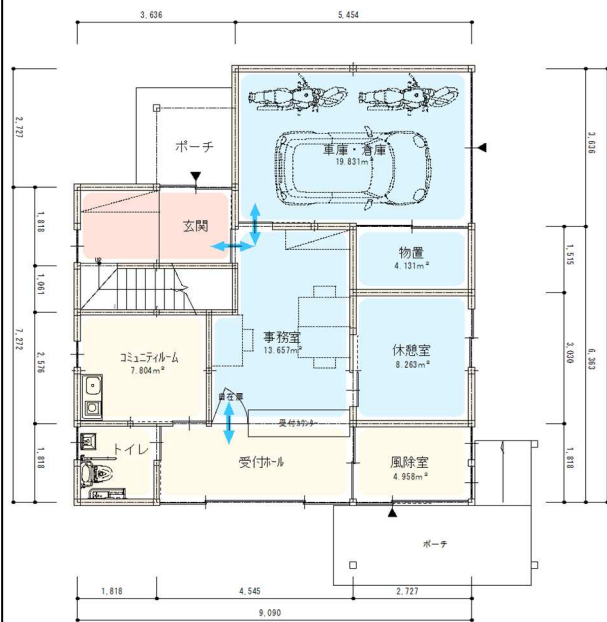
- ・『配置・平面計画のイメージ図』を記載してください。
- ・着色可。スケッチ等簡易なものとしてください。

【配置計画イメージ図】

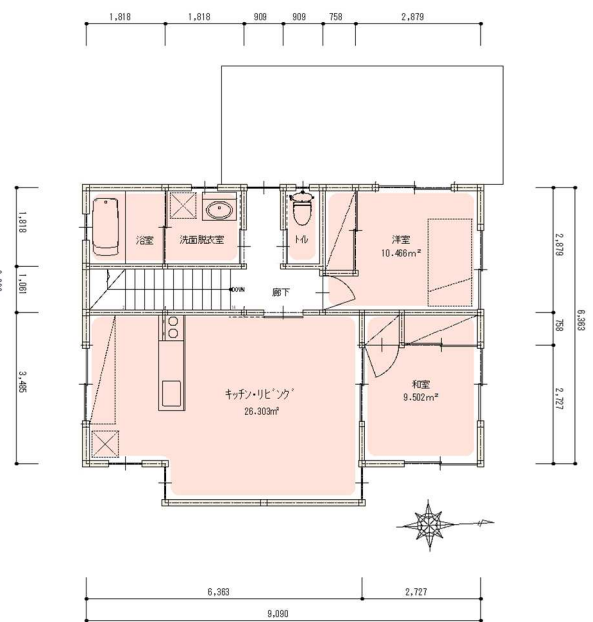


飯島町文化会館

【一階平面計画イメージ図】



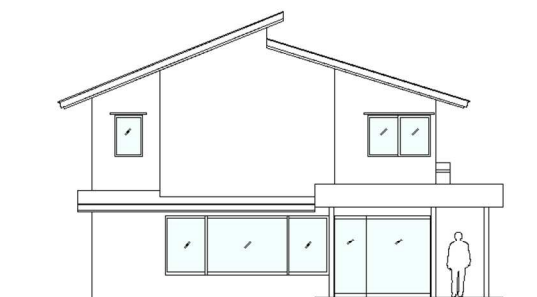
【二階平面計画イメージ図】



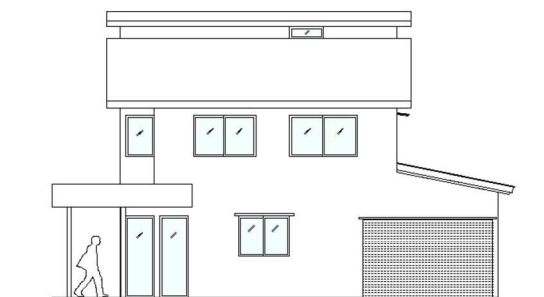
1-3 建物要件書を踏まえた配置・平面・立面計画の提案

- ・『**立面計画のイメージ図**』を記載してください。
- ・着色可。スケッチ等簡易なものとしてください。

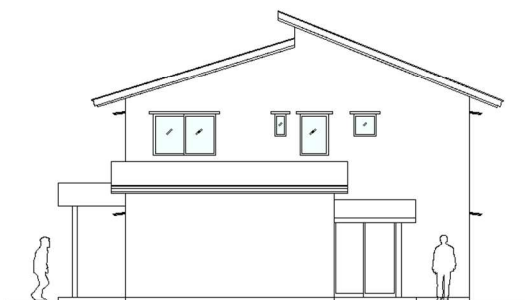
【立面計画イメージ図】



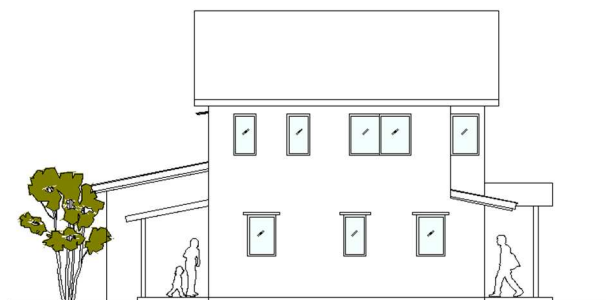
【東側】



【北側】



【西側】



【南側】

2 ゼロカーボンモデルにふさわしい省エネ対策に関する提案

■ハード面での対策

- ・外皮の省エネルギー性能を高めるため、断熱材は、高性能グラスウールとフェノールフォームを使用します。いずれも断熱性能が高く、耐熱・難燃性もあります。開口部については、樹脂サッシとアルミ樹脂複合サッシを併用し、ガラスには Low-E トリプルガラスを採用します。また、施工精度の検証として、しゅん工時に気密測定を実施します。
- ・建物を長く使えるようにするため、外壁及び屋根を通気工法とし、壁体内の湿気を逃がし、建物の耐久性を高めます。また、設備配管の集中している隠蔽部の点検及び更新が行えるように、点検口を設けます。
- ・室内照明計画について、日中は自然光を積極的に取り入れます。なるべく直射光にならないよう、日射遮蔽として、屋根の軒を出し、1 階部分には庇を設けます。照明器具は、エネルギー消費効率が高く、高寿命な LED 照明を使用し、居室は調光可能な多灯分散照明とします、非居室部分は、人感センサー式とします。
- ・換気計画は、高窓排気と床給気併用による、自然通風を活用して、夏季の冷房エネルギーを削減します。冬季はダクトを通して、天井面の暖気を床下へ送り込みます。

■ソフト面での対策

- ・HEMS を設置し、エネルギー消費量を見えるようにし、施設利用者に節電意識を持ってもらいます。
- ・CO₂/VOC モニターを設置し、空気環境の見える化と、換気設備と連動させることで、効率的な換気を行います。
- ・受付ホールには環境モニターを設置し、外部からも見えるようにします。

3 再生可能エネルギーの導入に関する提案

■建物の使われ方を考慮した提案

- ・24 時間体制であることから、ランニングコストの削減が重要であると考えます、太陽光発電システム 4kw を屋根上に設置し、電力を創出します。太陽光発電システムと連携した、ヒートポンプ式給湯器を採用します。蓄電池を併設することで、電力購入の少ない、自立したシステムとします。

4 県産木材利用に関する提案

- ・県産材の調達方法について、信州木材認証製品を使用する旨を仕様書に記載し、安定した品質の県産材を使用します。構造材に木曽ヒノキを、内装材には根羽村の杉を使用を考えています。
- ・費用の低減方法について、なるべく特殊な材料及び工法を選定せず、地元工務店の競争によるコストダウンを図ります。また、製材は原則プレカットで行い、工期短縮を図ります。
- ・より多くの県産材を使うための工夫について、構造材だけでなく、内装材にも木材を使用します。カラマツや、スギを多用し、香りによるリラククス効果と、木材の調湿効果をもたらします。

5 所定の性能をより低コストで実現するための提案

- ・調達が容易な建材、設備機器を採用します。
- ・流通建材を無駄なく使用するため、尺スケールによる平面計画。
- ・施工手間が増えない、単純で統一された、納まりを採用します。
- ・耐久性を求められる床材などは、張替えも容易な建材を採用します。
- ・外壁は金属系サイディングによる乾式工法とし、工期短縮を図ります。
- ・屋根材は次世代ガルバリウム鋼板を使用し、メンテナンスコストを削減します。
- ・基礎工事に使用する砕石は、再生砕石を使用します。
- ・耐震レベルについて、面材耐力壁を採用し、品確法に定める耐震等級 3 を確保します。
- ・外皮平均熱貫流率は、0.55 以下を目標にします。また、コストに合わせた仕様変更にも速やかに対応いたします。

6 その他（その他提案等があれば自由に記載してください。）

- ・駐車場が広いことから、アスファルトや砕石敷とした場合に、建物周囲における地熱の上昇が予想されます。駐車場緑化工法により、敷地面積の 30%以上を芝による緑地とすることで、駐車場としても利用できる上、地盤の水循環再生に貢献し、水の蒸発などの効果で、地表面温度を下げます。また、地域の良好な景観形成につながります。